

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

トゥルスンゾダ市ナヴォボド地区ラジャボフ村第11学校建設計画供与式報告

令和元年9月2日、「トゥルスンゾダ市ナヴォボド地区ラジャボフ村第11学校建設計画」の供与式がトゥルスンゾダ市で行われました。供与式にはトゥルスンゾダ市長をはじめ、多くの学校関係者、児童・生徒を含む大勢の地域住民が参席しました。

本計画対象のラジャボフ村第11番学校は村唯一の基礎教育機関で、1～11年生約500名が通っています。同校校舎は建設から70年が経過していたため老朽化が顕著で、建物のおよそ半分は天井や床の腐敗のため使用禁止となっていました。第11学校は市からの予算や保護者からの集金で自力で少しずつ改修工事を行ってきましたが、資金不足で全体的な改修には至らず、児童・生徒らは非常に危険な環境で学習せざるを得ない状況でした。

今般、本計画実施により教室7室および職員室1室で構成される新校舎が建設され、同校の児童・生徒たちは安全な環境で十分な教育を受けることができるようになりました。



テープカットの様子。



供与式に参加した児童・生徒や地域住民らによって踊りが披露されました。



新しい校舎で学習する生徒たち。



同校の児童・生徒らから日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。